

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

安心安全かつデザインの可能性をもつ建物づくりを通し、地域の経済・社会活動を継続させる基盤を構築するとともに文化的価値向上に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ZEBまたはZEH対応の建築物の提案を行い、CO2排出の削減に貢献する。	2023年提案0件→2026年までに提案1件
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域の学生に対して設計コンペや公開セミナーを開催し、建築についての学びの場を提供する。	2023年開催1回→2026年まで継続して年1回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	建設業を志望する人材を増やすため、ワークライフバランスを確保した働きやすい環境を整備する。	2023年年間休日105日→2026年までに年間休日110日

<パートナーシップ>

自然災害が多発する中、安全かつ強靱な社会を持続可能にするためには建設産業に従事する人材が不可欠であり、専門業種の協力会社と連携し魅力ある安心して働くことができる環境をつくり、建設産業への人材確保につなげていく。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・産業廃棄物排出量の削減 各現場の週に一度の一斉清掃にて産廃BOX内の空隙量を削減。梱包材の段ボールの分別を徹底し産廃の削減に努めたが、工事内容により産業廃棄物排出量が多くなり、目標は未達だった。	産廃排出量2023年 2020年比20%削減。	2020年度197.07t→2023年度179.3t(2020年度比9%削減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・安全で災害に強い鉄筋コンクリート住宅の普及 コンクリートの良さを多くの方に知ってもらうためにテレビ番組を作成し放映したが、材料、労務費の高騰により低価格帯での商品開発を見送り、目標は未達だった。	より多くの方に利用 いただける価格帯の 商品を開発しご利用 頂く。受注件数2020 年0件、2023年3件	テレビ放映による受 注2023年0件
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・社員一人ひとりの生きがい、働きがいの追求 役割等級制度を導入し、仕事の役割を見える化した。合わせて給与表も整備し、社員一人ひとりが自分のキャリアを描けるようになり、目標通りに達成できた。	個別面談を実施する。 2020年未実施 2023年実施	個別面談を2023年 実施した。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。